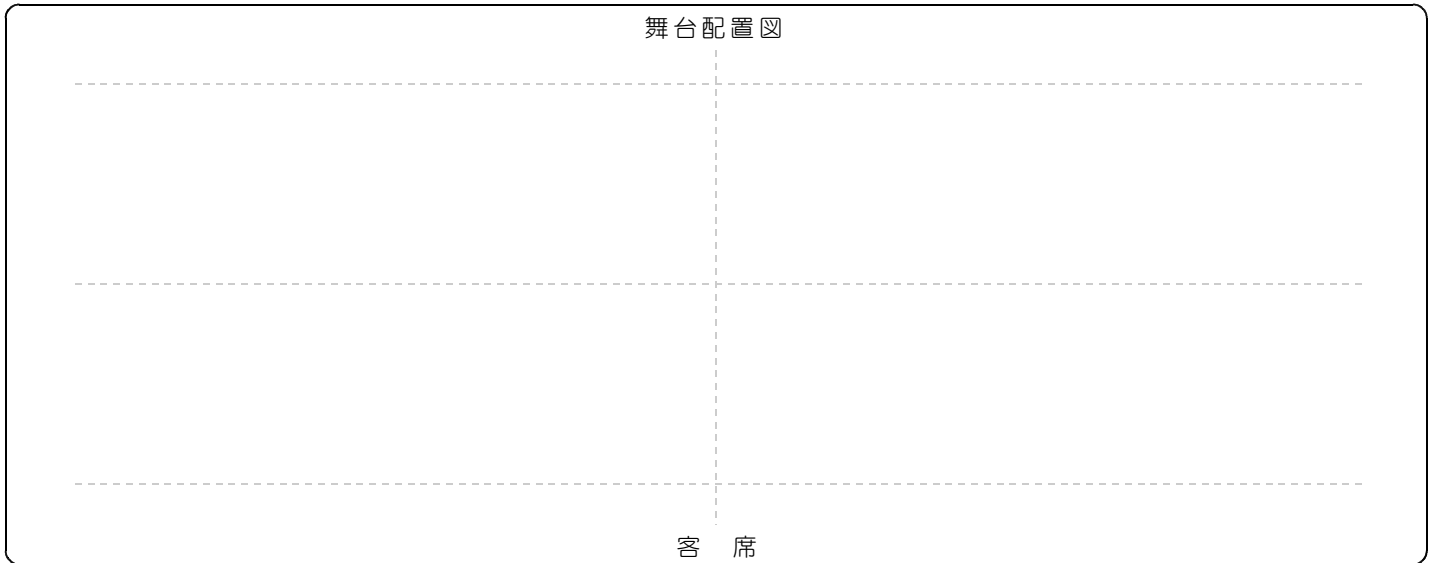


No.	上 弦 の 曲	演奏者数	演奏時間
-----	---------	------	------



表示記号一覧	一 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ モニター	□ 毛氈	W 屏風
立 奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座 奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44										編成：箏			尺八		
Part	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾			
箏					D				A					一は四の乙（C）		
	C	G	G#	C	C#	D	F°	G°	G#°	C°	D°	G°	D			
尺八	一尺八寸管 □ = D を箏の六に合す															

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1979年 委嘱者 一 構成 箏・尺八 時間 17分 出版楽譜 無し

解説 この曲は古き時代の人々が神秘の月と仰ぎ、それぞれの想いを月に祈ったであろうことを思い巡らせながら書いた曲で、沢井忠夫合奏団の第一回演奏会で初演された。全体を通じて日本の伝統楽曲の雰囲気濃厚に持っている。曲は箏と尺八それぞれの自由な物言いに始まり、合奏に入る。一段ごとに高潮した合奏は最後のオスティナートの部分で最高を迎え、やがて初めの部分を合奏で再現して終わる。1979年5月作曲。[作曲者]

収録媒体 日本の音2 箏 (COCF-9382)